

これって虐待??

最近、新聞やニュースなどでも「高齢者虐待」に関するものをよく目にします。実際にH28年度には、全国で約27,940件の相談・通報があり、そのうちの約16,384件が高齢者虐待であると判断されています（厚労省HPより）。

では、どのような行為が高齢者虐待に当たのでしょうか。

これらの行為は虐待でしょうか??

- ①言うことを聞かないから軽くたたいた
- ②勝手に本人のお金を使いこんでしまった
- ③何度も同じ話をするから無視をした



どの事例もこの表現だけでは判断できませんが、身体を傷つけることだけが虐待ではなく、上に挙げた事例も程度や状況によっては虐待とみなされる可能性があります。

《高齢者虐待の類型》

高齢者虐待には、次の5つの類型があります。

- ①【身体的虐待】暴力行為などで身体に傷やあざ、痛みを与える
- ②【心理的虐待】高圧的な言葉や態度、無視や嫌がらせによって苦痛を与える
- ③【経済的虐待】財産や金銭の無断使用、本人の金銭使用を理由なく制限する
- ④【介護放棄】介護や生活の世話をする家族が、介護や世話を放棄する
- ⑤【性的虐待】本人の同意なく性的な行為を強要したり、辱める

《虐待の背景と予防策》

高齢者虐待が発生する背景は様々で、複数の種類の虐待が同時に発生していることもあります。そして高齢者のみでなく、虐待してしまう人も実は助けを求めていることが多いのです。虐待してしまう人には「虐待をしている」という自覚のない場合もあります。加害者という目で見ないで、介護する家族を地域で孤立させないように、声をかけ合って支えあうことが虐待の予防につながります。

高齢者の見守り訪問をします

今年度も70歳以上の方の高齢者見守り事業を行っていきます。今年は、訪問対象者が、お一人暮らし又は高齢者世帯で、介護サービスを利用していない方となります。その中で、安否確認が取れない方について訪問し、お元気かどうか、お困り事はないか等、簡単な質問をさせていただきます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

訪問時は、身分証明書を携帯し訪問します！